

身近なみどり整備推進事業
優良事例集

令和元年10月

茨城県農林水産部林政課

目 次

(平成30年度事業)

- 1 馬坂城址の森林整備（常陸太田市）
- 2 西金団地における森林の竹林駆除整備（大子町）
- 3 森林公園における森林整備(水戸市)
- 4 林中城跡の整備（鹿嶋市）
- 5 農地周辺の森林整備（鉾田市）
- 6 小池地区における森林整備（阿見町）
- 7 通学路沿いの森林整備（石岡市）
- 8 真壁町山尾における有害鳥獣対策のための森林整備(桜川市)
- 9 駒羽根における通学路等の森林整備(古河市)

身近なみどり整備推進事業における事例（1）

馬坂城址の森林整備（常陸太田市）

常陸太田市天神林町内に残る馬坂城は、平安時代の末期に、佐竹氏発祥といわれる佐竹昌義が築いた城郭です。

現在は、地域の保存会による維持修繕が行われていますが、竹やツル等が繁茂し、倒木等が残ったままの状態でした。

そこで、間伐・下刈り・竹伐採等の整備を行ったところ、日当たりが良くなり、また、城跡の形状もはっきりと見えるようになり、森林環境・景観の回復を図ることができました。

今後は、地元住民のほか、観光地として訪れた人々が楽しめる場として活用されることが期待できます。



整備前



整備前



整備後



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（2）

西金団地における森林の竹林駆除整備（太子町）

西金団地の森林は、侵入竹が覆っており、荒廃が進んでいる状況でした。また、当該森林は地域住民が生活に利用する道路に面していますが、侵入竹により林内に陽が当たらず、冬期は路面が凍結となり、生活に支障をきたしている状況でした。

そこで、刈払いや竹の整理伐を実施したところ、林内が明るくなり、住民が通行する際の安全性が高まるとともに、景観の回復を図ることができました。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（3）

森林公園における森林整備(水戸市)

水戸市森林公園は市北西部の山根地区にあり、松林、雑木林、湧水や溜池など、豊かな里山の自然に恵まれた公園で、市民を中心に多くの来客者が訪れています。

広大な公園内には、手つかずの自然が残されていますが、樹木が繁茂し、市民の憩いの場としては、景観を損ねているところもありました。

そこで、下刈りや整理伐などの森林整備を行うことで、林内の見通しや日当たりが改善されるなど、森林環境の向上が図られ、より快適に利用していただける公園になりました。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（4）

林中城跡の整備（鹿嶋市）

鹿嶋市林地区の事業実施箇所は、鎌倉時代には成立していたとされる「林中城（はやしなかじょう）」の城跡で、歴史的に価値のある土塁が残っています。しかし、近年は低木や下草が生い茂り、城跡が埋もれていたことから、貴重な文化財を保全活用するため、荒廃した森林の整備を求める地域住民の声が上がっていました。

そこで、森林内の下草刈りや整理伐、竹林伐採を行ったところ、見通しが良くなり、城跡の存在がわかるようになりました。

歴史に触れることができる場所として活用の機会が広がることで、今後の森林保全に繋げていくことも期待できます。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（5）

農地周辺の森林整備（銚田市）

銚田市飯島地内では、周辺の住宅や農地に樹木が侵入し、日照不足を引き起こす一因となっているほか、一部の樹木は枯損による倒木の危険性がある状況でした。

そこで、森林の健全な育成等を促すため、下刈りや樹木の整理伐を行った結果、森林内外の景観は良好となり、安全性も確保されたことで、地域住民が身近なみどりに関心を持つ機会の創出とともに、農地への日照不足の改善等にも寄与することが期待されます。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（6）

小池地区における森林整備（阿見町）

阿見町小池地区の町道は、一般車両の交通量も多く、また地元住民の生活道路として広く利用されています。

しかしながら手入れ不足から竹木等が繁茂し、そのまま放置し枯損すれば道路側へ倒れることにより、電線の損傷や道路の通行に支障を及ぼす懸念がありました。

そこで、竹木の整理伐等を実施したことにより、懸念が払しょくされるとともに明るく見通しも良くなりました。地域の景観の向上も図られ、安心して通行することが出来るようになりました。



整備前

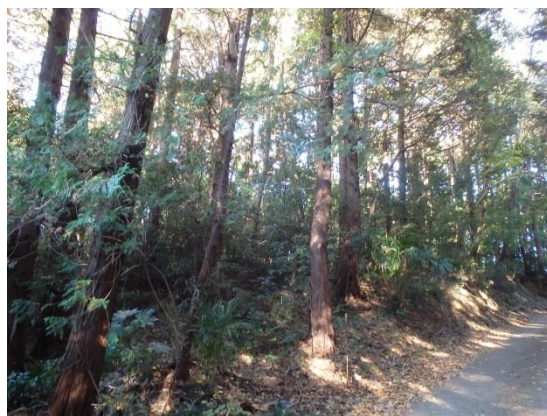


整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（7）

通学路沿いの森林整備（石岡市）

小埜地区の瓦会小学校の児童の通学路付近の森林は、管理が行き届かない状況で、見通しも悪く、また倒木の恐れのある木もありました。そこで、整理伐や枝打ち、下刈りなどを実施したことにより、明るく見通しも良くなりました。通学路としての安全性が高まり、かつ地域の景観の回復も図ることができました。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（8）

真壁町山尾における有害鳥獣対策のための森林整備(桜川市)

桜川市における山林に隣接する水田では、ここ数年、イノシシ等の有害鳥獣による被害が相次いで確認されており、地域をあげた獣害対策が必要とされていました。

そこで、有害鳥獣対策としての里山林整備の観点から山林の刈払い・間伐を行いました。

その結果、山林内の見通しが良くなり、山林と農作地帯との間にイノシシが近づきにくい緩衝帯が整備されました。

今後、本事業を活用した地区における鳥獣害被害の減少が期待できます。



整備前



整備前



整備後



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（9）

駒羽根における通学路等の森林整備(古河市)

古河市駒場根の通学路等の森林は、手入れ不足により笹・灌木類が繁茂したことで林内の見通しが悪くなった部分があり、児童・生徒の登下校時の安全確保の観点から森林整備を必要としていました。

このため、下刈りや間伐を実施したところ、林内の見通しがよくなったことで通学路の防犯・安全性の向上が図られ、景観も向上しました。



整備前



整備後